

受精卵移植技術を活用し農家経営安定に貢献

当センターでは、高能力牛の凍結受精卵を酪農家へ譲渡するとともに、バイオカウライナー（農家の庭先で受精卵を処理し凍結する機器を装備した車）で農家に出向き、農家の牛から受精卵を採取する農家採胚に取り組んでいます。

平成 27 年度は当センターの乳牛受精卵 26 個を譲渡し、農家採胚では乳牛 7 頭、和牛 29 頭から 267 個の正常胚を採取しました。

今後も引き続き、肉質が優れた和牛や乳量・乳質に優れた乳牛を効率的に増殖できる受精卵を安定的に生産供給し、京都産和牛の増産、乳用牛群の能力向上を支援していきます。



バイオカウライナーで農家へ出張し牛舎内で採胚を行う農家採胚